

意見書

各位
警察学校 御中
福島署 御中

福島市矢剣町11-3 星野節子
024-563-7650
7/7/7から『動物の繁殖は虐待』で検索を
<https://ameblo.jp/animal-police>

1、公務員の中に納税者を妬む者がいます。税金で食べている公務員が恥ずかしくないのでしょうか？ 該当者の名前を聞きたいかたは当方までお問い合わせください。

2、警察OBで冤罪を作った可能性がある危機管理係 M氏の言い分を信じる者がいます。信じているというよりも、信じたほうが楽だから、わざと信じているのでしょうか。M氏の言い分を意図的に信じる者は、「邪魔者はキチガイ扱いしたほうが楽だし得だ」という本音を見透かされていると自覚しましょう。嘘を付くのは簡単でも人相だけは嘘をつけません。人相とオーラが悪いと不幸にしかたありません。

尚、「髪が長くてキレイな人は役所にはいない」というのはどうやら本当のようで、それについては目の悪い私の見間違いだったと認め謝罪します。美人はちやほやされることが多いため向上心があって素直ですからM氏の合図を有り難がるほど悪質ではないでしょう。

3、M氏は、私が広報広聴課へ行った際に、私に対応しようとしてカウンターへ来た職員二名へ、「この女はキチガイだから話す価値がない」という暗号を手で送ったのでしょうか。そうでなければ、広報広聴課の二名が急に態度を変えて、私をバカにしたような目つきに変わって去っていくはずがありません。M氏も悪いですが、M氏の合図を信じたのは『信じたい欲求』があったからでしょう。品性の低い者は、何を信じたいかによって、信じる物を選別します。そういう人に限って、信じてはいけない人を信じて待ちくたびれています。尚、M氏は公共の福祉に寄与するという気持ちは微塵もなく非情さもあって、私に嫌われているため、仕返ししたくて私を『キチガイ認定』したのでしょうか。

4、令6年2月9日頃、上記の二人とは別ですが、広報広聴課の男女二人が隣同士でいちゃいちゃしているのを見逃してはいません（カウンターの至近距離の二人）。勤務中にいちゃいちゃを楽しんでいるところへ、市政をよくするための面白くない話なんて聞きたくもないことでしょう。「見ない・聞かない・知らない・真剣に取り組まない」は楽でしょうが、その報いは必ず来ます。人生は甘くはないのです。「**今の安定は今だけのもの、日々精進してこそ日々安定**」

5、危機管理係のS氏も「隠し事がありそうな人相」に相応しい悪質さを持っていました。冤罪警察ではありませんか？

6、妬みを正論風に偽装して合法的にタカるのがお家芸の共産脳。共産脳によってミスリードされた「悪い人権主義」に基づく「行き過ぎた福祉」。

「行き過ぎた福祉は福祉を支える側への虐待」のため、高額納税者ほど日本に納税するのがバカバカしくなって外国へ移住しています。そのため、国内に残っている中間層貧困層だけで納税しなくてはならないため、ますます可処分所得が減ります。そうすると「公務員数削減を」という世論の波がまた来ます。たぶん、庁舎勤務の公務員が介護施設とか障害者施設で派遣として働くようになるかと予想します。

7、職務に忠実であることと公益性は必ずしも一致しません。むしろ、職務に忠実であればあるほど公共の福祉に反し、平等の原則に反します。それは、共産脳のミスリードによって、

- 怠け者を弱者に見立てて必要以上に手厚く保護する制度
- 妬みを正論風に偽装して合法的にタカる制度

を温存しているのが役所だからです。役所は『福祉の世話になっている者の人権しか考えていない』のがバレています。 『福祉を支える人のための福祉課』を儲けてこそ平等に近づきます。